

日時 11月6日(日)9時〜15時
 ※ミュージアム都留9時集合 小雨
 決行(中止の場合は当日朝連絡)
参加費 1000円(保険料)
持ち物 昼食・飲み物・帽子・タオル・筆記用具
対象 全年齢、体力に自信のある方
 ※小学生4年生未満は引率者の付き

「谷村大堰と人々の暮らし」の関連イベントとして8月に行った、「家中川を歩き詠む」の下流編を実施します。
 午前博物館から下谷にかけて歩き、午後はそこで得た素材をもとに俳句をつくり、その俳句を巨大地図上の詠んだ場所に貼り付け、参加された皆さんで、家中川がどんな川か読み解こうという内容です。完成した作品は「谷村大堰と人々の暮らし展」の会期中、展示室で展示します。

関連イベント
「家中川を歩き詠む」下流編

MUSEUM
 ミュージアム都留 &
増田誠美術館

開館時間 9時〜17時
 ※増田誠美術館は16時30分まで
観覧料 一般 300円(210円)
 高・大学生 200円(140円)
 小・中学生 100円(70円)
 ※()内は、20名以上の団体料金です。
休館日 月曜日、第3火曜日
 祝日の翌日
問合せ先 ミュージアム都留 ☎45-8008



企画展 おおせぎ
「谷村大堰と人々の暮らし」展

会期 11月27日(日)まで
会場 都留市博物館「ミュージアム都留」第2展示室

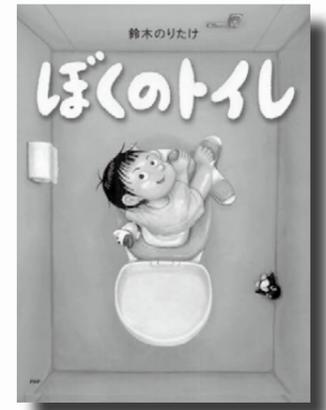
定員 15名(先着順)・要申込
添いが必要。
ギャラリートーク
 今回の企画展の内容を学芸員が解説します。奮ってご参加ください。

日時 11月27日(日)14時
場所 第2展示室
参加費 入館料がかかります。



祖父、ソフリエになる
 新米じいじ初めての孫育て
 エガリテ大手前 編
 メディカ出版
 「ソフリエ」という言葉を聞いた事がありますか？一言でいえばイクメンのおじいちゃん世代の男性は子育てに積極的でなかった人も多いのでは？「ちょっとお守」ではなくオムツやミルクなど祖父が孫と1日を過ごすことができるまでの知識を紹介しています。

ぼくのトイレ
 鈴木のリたけ 作・絵
 PHP 研究所
 もしも、こんなトイレがあったら。ルーレットトイレ、すべりだいトイレ、ロケットトイレ…。おもしろトイレがいっぱい！どんなトイレを使ってみたい？トイレがたのしくなってくる絵本です。



今月のおすすめ
 Recommendation



パパ、どうしてお仕事いかないの?
 望月 昭 著
 幻冬舎
 うつ病で会社を辞め、仕事は妻が、家事全般は夫がするという役割分担は子どもが生まれた後も続き、専業主夫の道を邁進していく。でもそんな男性への世の中の視線は案外冷たい。ベストセラーコミック『ツレがうつになりました。』のツレさんの頑張りすぎない子育て&専業主夫エッセイです。

珍獣病院
 田向健一 著
 講談社
 どんなペットの病気でも治そうと奮闘する珍獣ドクターの診療日記。将来獣医になりたいアナタへ。今ペットを飼っているアナタへ。ちっけだけどみんな同じ命なんです。



児童図書
 全125冊
今月の新刊
一般図書
 全191冊

開館時間
 9時30分〜17時15分
 ※火・水・木は19時まで開館します。
 ※1日〜3日は、17時15分まで
問い合わせ先
 都留市立図書館 ☎(43)1324

11月の開館ご案内

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

○印が休館日です。

図書館だより

■児童図書
 小学生はこれを読め！
 日本のもと 家族
 からだと心の対話術
 治安・法律・経済のしごと
 高校受験すぐにできる40のこと
 ジュニア地球白書
 あかいくま
 わんぱくだんのどんぐりまつり
 なぞなぞのみせ
 木のあかちゃんず
 ほか

■一般図書
 がんばらなくていい生き方 香山リカ
 イソップの暗号 伊達一啓
 いつか行ってみたい世界の絶景を 見る アフロ
 すべらない就活 原田康久
 赤とんぼはなぜ竿の先にとまるのか？ 稲垣栄洋
 はてな？のワイン 山本博
 なでしこジャパン 壁をこえる奇跡の言葉128 江橋よしのり
 放課後ゴルフ倶楽部 上杉隆
 警官の条件 佐々木謙
 ほか



たくさん本を読もうね！楽しいよ！

読書週間行事
 図書リサイクル開催中!!
 10月27(木)〜11月9日(水)まで
 図書館エントランスにて
 ※くわしくは広報つる10月号をご覧ください。

次回企画展予告
 芭蕉のさと企画展

『甲州俳諧展』
 素堂と句合せ
会期 平成23年12月17日(土)〜平成24年2月12日(日)

山梨県ゆかりの俳人「山口素堂」について、都留文科大文学部近世文学教室と共催で企画展を開催します。江戸時代の甲州俳人のなかで、もっとも有名なのは山口素堂です。素堂は芭蕉の親友で、芭蕉の伝記の肝心なところに登場する点で注目されています。素堂の句として「目には青葉山ほととぎす初鯉」はよく知られています。

今回の展示では、素堂の作品がもっとも多く収められている『とくとくの句合』をとりあつかいます。句合とは、左と右の二グループに句群をわけてつがわせ、一番ごとにその作品の優劣をきそわせる形式をいいます。歌合を発生源とするこの形式は、俳諧においても珍重されました。

『とくとくの句合』は、素堂自身が自分の句をえらび、そして自分で優劣をつけた作品集です。これをとりあつかうことにより、素堂句の具体と、文学観を説明します。

増田誠美術館

「第20回増田誠大賞公募展」受賞者決定!
 応募総数275点の中から、審査の結果103点の入賞作品が選ばれました。

一般の部
 大賞 藤本茂次「自画像」
 市長賞 椎名恭子「古都の春」
 議長賞 山口さおり「花のある静物画」
 教育長賞 古屋誠子「新緑の上高地」
 市長奨励賞 羽田美恵子「収穫」
 議長奨励賞 渡辺大亮「エクスガリバー」
 教育長奨励賞 小池絹代「幸せの香り」
 中野亜沙美「私と」

小中学生の部
 大賞 平井 諒「ヴァイオリン」
 市長賞 徳永麻美子「孤独の光」
 議長賞 相澤万葉「自画像」
 教育長賞 小笠原研聖「母への薔薇」
 市長奨励賞 小倉里桜「おきなわでシノノケリング」
 市長奨励賞 宮澤遥奈「海で楽しむ人」
 議長奨励賞 吉村 岳「友だちの顔」
 議長奨励賞 柏木大器「友達の色」
 議長奨励賞 杉本舞夏「綱引」
 議長奨励賞 藤江 遼「月のきち」
 教育長奨励賞 天野樹音「幼い日の思い出」
 教育長奨励賞 佐藤蒼乃「夏の日」
 教育長奨励賞 佐藤優美「窓辺」
 教育長奨励賞 佐野伶奈「友達の色」

「増田誠画伯が描く人々の暮らし」開催中!
会期 11月13日(日)まで